

マイクロ流体デバイスの鋳型図面

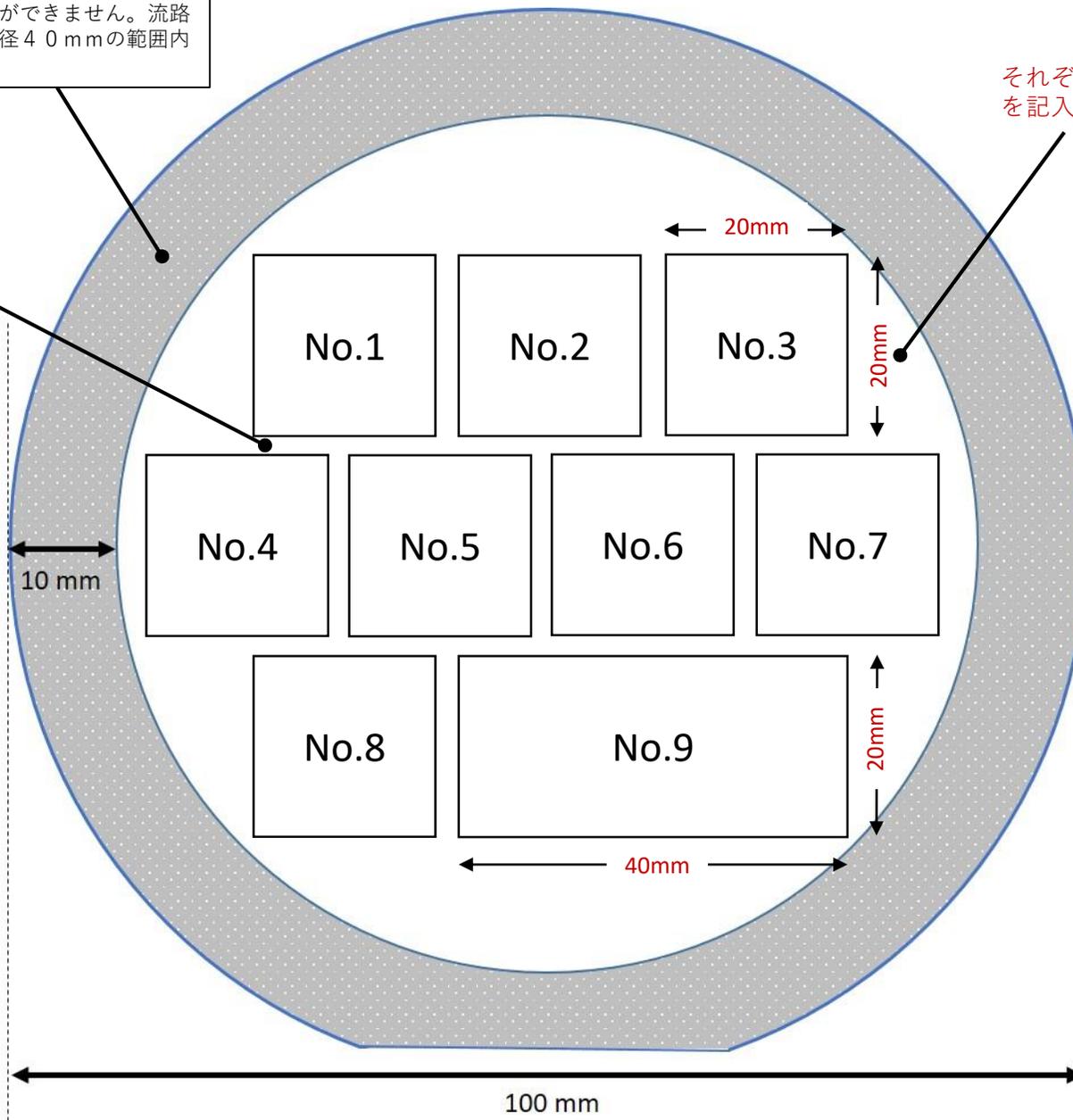
図面の例

流路が作製できないエリア

・端から10mmのエリアは流路の作製ができません。流路をデザインする際は、鋳型の中心から半径40mmの範囲内をお願い致します。

特にご指定が無い場合は、それぞれのデバイス間のスペースは、等間隔で作製します。

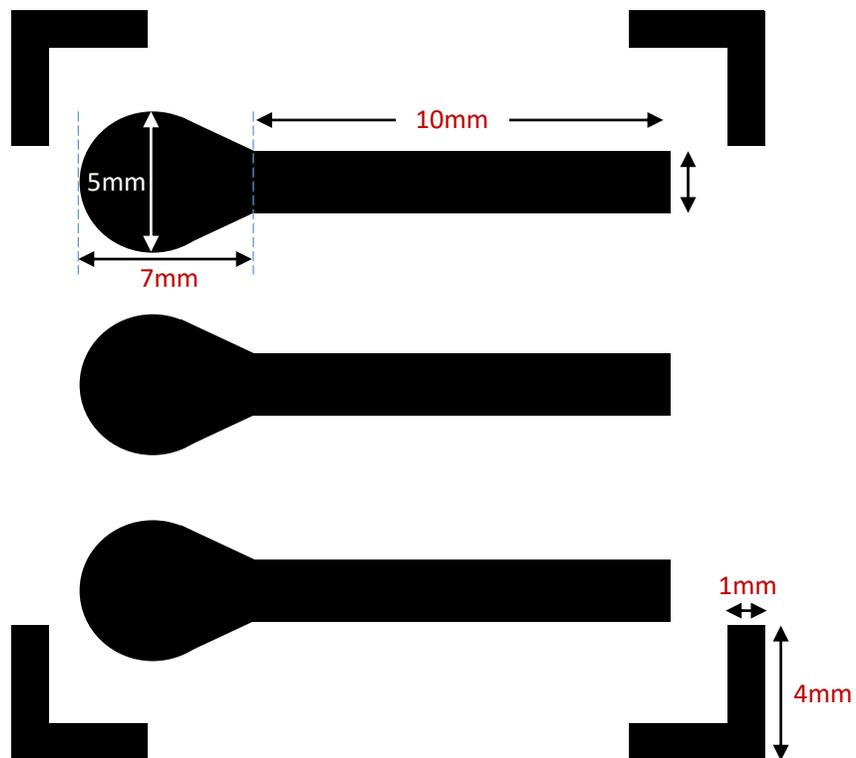
それぞれのデバイスのサイズを記入して下さい。



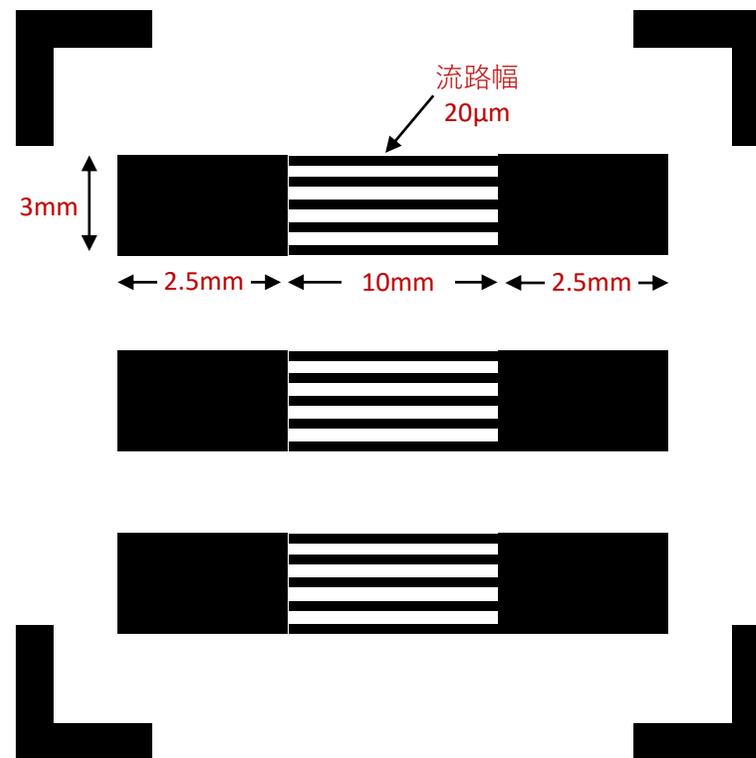
次ページ以降に流路デザインを描いて下さい。

100 mm

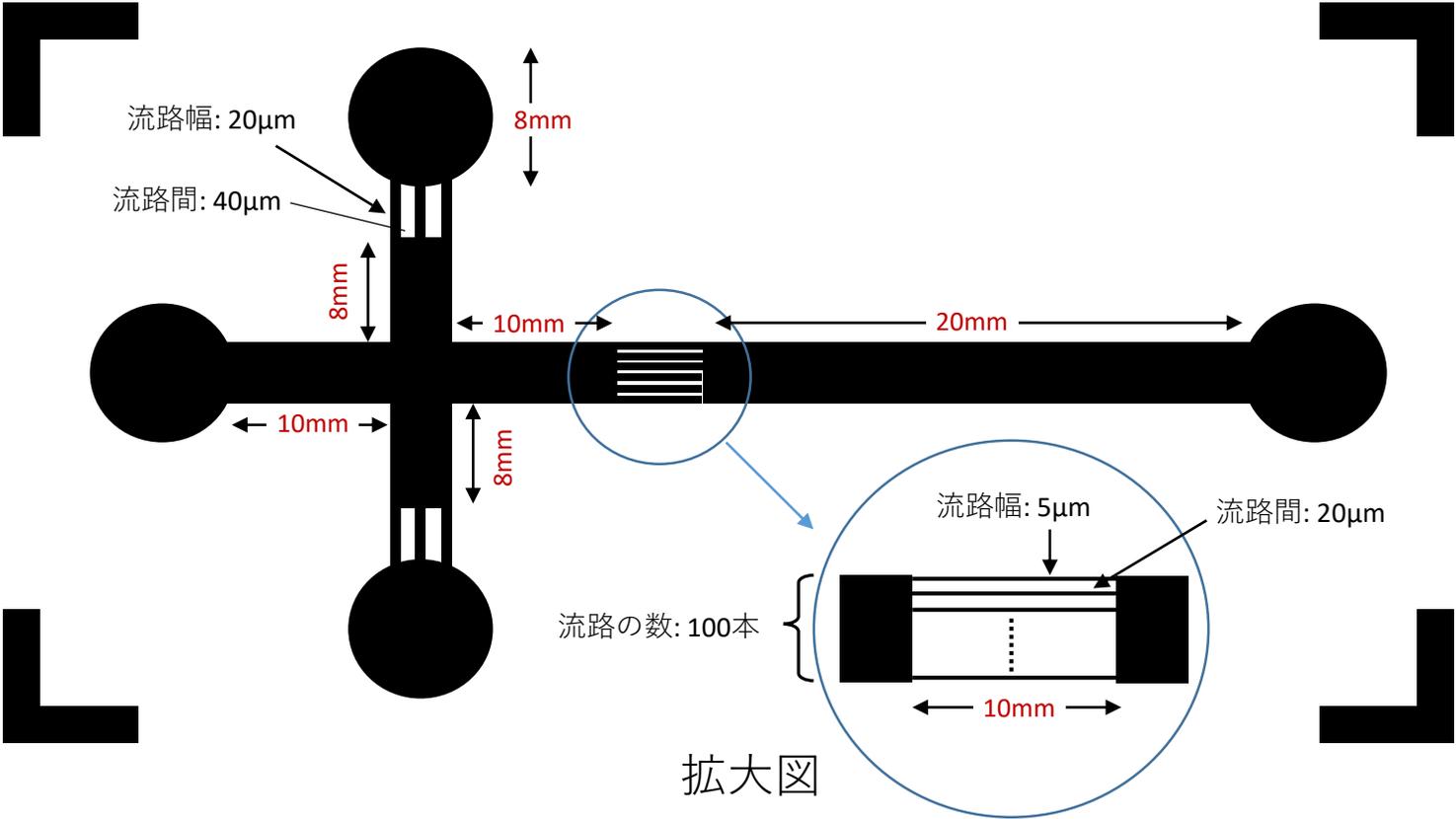
No. 1 ~ No. 3



No. 4 ~ No. 8



このような「枠」もデザインに含めておくと、PDMSデバイスを作る際に、カットする位置が分かり便利です。



流路デザインが細かい場合は、このような拡大図を加えて下さい。